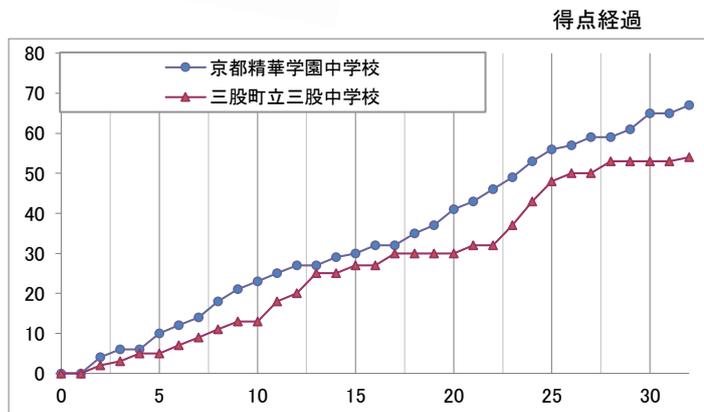




2017 ALL JAPAN JUNIOR HIGH SCHOOL SPORTS FESTIVAL

第47回全国中学校バスケットボール大会

大会名	平成29年度 全国中学校体育大会 第47回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	沖縄県立武道館																
日時	2017年8月23日(水)	12:10															
コート	BBコート 第3試合																
カテゴリー	女子予選リーグブロック																
主審	大江 裕之	(岐阜)															
副審	仲松 みのり	(沖縄)															
TEAM A	TEAM B																
京都精華 (京都府)	67 ○	54 ● (宮崎県)															
	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>11</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	18	1st	11	14	2nd	16	21	3rd	16	14	4th	11	—			
18	1st	11															
14	2nd	16															
21	3rd	16															
14	4th	11															
—																	



BOXスコア

TEAM A		京都精華学園中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	荻田 美(CAP)	×	17	3	4	0	3	
5	柴田 柚菜	×	25	0	11	3	0	
6	中江 美友	×	3	1	0	0	0	
7	渡邊 香玖耶	/	0	0	0	0	0	
8	西村 有未	/	0	0	0	0	1	
9	高瀬 真菜	/	4	0	2	0	0	
10	田島 朱乃	DNF	2	0	0	2	0	
11	後藤 郁乃	DNF	0	0	0	0	0	
12	三島 伽月	DNF	0	0	0	0	0	
13	岩本 未夢	DNF	0	0	0	0	0	
14	大谷内 結乃	DNF	0	0	0	0	0	
15	植村 文音	DNF	0	0	0	0	0	
16	呉本 明津実	×	10	0	5	0	1	
17	瀬川 心暖	/	1	0	0	1	0	
18	トラオレ セトウ	×	5	0	2	1	1	
コーチ	山本 綱義							
合計			67	4	24	7	6	

TEAM B		三股町立三股中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	松原 志帆(CAP)	×	31	4	8	3	2	
5	吉村 咲紀	/	1	0	0	1	0	
6	中村 夏希	×	2	0	1	0	4	
7	菅野 伊万里	×	11	3	1	0	0	
8	矢野 朱理	/	0	0	0	0	0	
9	上之原 里香	×	2	0	1	0	2	
10	鬼塚 瑞葵	/	2	0	1	0	3	
11	下之蘭 咲心	×	5	0	2	1	3	
12	山元 玲羅	/	0	0	0	0	1	
13	津曲 杏花	DNF	0	0	0	0	0	
14	迫田 姫愛	/	0	0	0	0	1	
15	廣瀬 麻衣	DNF	0	0	0	0	0	
16	山内 結稀	DNF	0	0	0	0	0	
17	宮本 なつみ	/	0	0	0	0	0	
18	大久保 愛梨	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	横山 祥子							
合計			54	7	14	5	16	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

予選リーグ2試合目、近畿ブロック代表京都精華と九州ブロック代表三股との一戦。京都精華は#18、#5を中心に高さを生かしたインサイドプレイで組み立てる。三股は激しいマンツーマンとアウトサイドショットで対抗。京都精華は#5の連続ポストプレイで12-7とする。三股は#4の正確なショットで点差を詰めるも、終了間際、京都精華の#16のショットで18-11で1Q終了。2Qに入り、京都精華は#4の3P、三股は#4のショットで一進一退の攻防が続く。京都精華が#5、#18のインサイドで25-13と点差をつけ、残り5分49秒、三股一回目のタイムアウト。その後三股は#4と#6#11の連続ショットにより2点差まで詰め寄るが、両者譲らず32-27、京都精華5点リードで前半終了。3Q、三股の#4の3Pでスタート。京都精華は#4の3P、ドライブシュートで得点を重ね、41-30の11点リード。#4の3Pが決まり、46-34となったところで、三股タイムアウト。その後、三股の#4#7の連続得点で53-43となり3Q終了。4Q、三股#7の3P、#11のショットで56-50と点差を縮める。京都精華#16、#5のショットで応戦。残り4分54秒、59-50で三股2回目のタイムアウト。三股#4の3Pで6点差とし、京都精華1回目のタイムアウト。京都精華#5の得点で61-53、三股たまたま最後のタイムアウト。三股は早めの攻撃を仕掛けるが、得点につながらず、67-54の13点差をつけ京都精華が勝利した。トランジションゲームの三股に対して、高さを生かした攻撃、#4を中心に冷静なゲーム運びをした京都精華の上手さが光った試合となった。